秋田駒ヶ岳火山防災ステーション

秋田駒ヶ岳火山防災ステーションは、田沢湖高原にある複合施設「アルパこまくさ」内にあり、火山活動など緊急時の活動拠点であり、火山・防災情報の収集・発信基地でもあります。

火山活動時の活動拠点施設
火山情報の収集や発信基地
火山・土砂災害等の学習・広報の場

秋田駒ヶ岳の全てがわかります。


●監視カメラ映像


●秋田駒ヶ岳ハザードマップ


●秋田駒ヶ岳のすがた

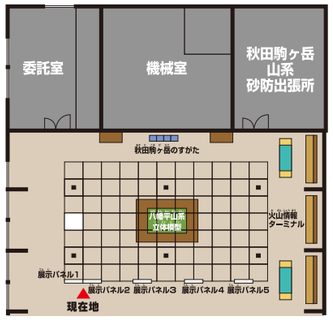

●映像設備


●八幡平山系立体模型

多くの展示パネルや映像設備、立体模型などで、秋田駒ヶ岳の火山防災に関する知識を楽しく学ぶ事ができます。

平常時





緊急時





噴火警報発令の場合、平常時の展示空間を現地対策本部として使用します。

※噴火警報……
火山から居住地域の近くまで生命に危険を及ぼす火山活動（噴火）が発生、あるいは発生すると予想される場合、気象庁が発令



アルパこまくさ

アルパこまくさは秋田駒ヶ岳のマイカー規制の拠点であり、田沢湖高原の中核施設です。

「秋田駒ヶ岳火山防災ステーション」「秋田駒ヶ岳情報センター」「自然ふれあい温泉館」がある複合施設で、2006年（平成18年）6月にオープン。


アルパこまくさ全景

秋田駒ケ岳山系砂防出張所

秋田駒ヶ岳火山防災ステーションの一部として2009年（平成21年）に新設。砂防事業の迅速・円滑な推進を図っていきます。



国土交通省 東北地方整備局　湯沢河川国道事務所
〒012-0862 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
TEL 0183-73-3174　FAX 0183-73-3179
ホームページ https://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/

↑QRコードはこちら↑

湯沢河川国道事務所 秋田駒ヶ岳山系砂防出張所
〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ケ岳2-16
TEL 0187-46-2681　FAX 0187-46-2683

2026.1月作成



ダイナミック SABO プロジェクト Web

仙北市役所 Web（水沢第２砂防堰堤観光情報）

R7.12 撮影

八幡平山系直轄砂防事業

水沢第2砂防堰堤

国土交通省 東北地方整備局
湯 沢 河 川 国 道 事 務 所

砂防堰堤のインフラ活用を目的に国内初の

「ボルダリングウォール」を設置した水沢第２砂防堰堤

水沢第２砂防堰堤について

水沢第２砂防堰堤は、たざわ湖スキー場のすぐ隣を流下する渓流「水沢」に設置した砂防堰堤です。この砂防堰堤は、秋田駒ヶ岳の火山噴火に伴う土砂災害の発生を防止・軽減するために建設されたものです。

火山噴火後に発生する土石流を大量に捕捉するため、折れ曲がった形となっているのが特徴です。

秋田駒ヶ岳周辺は有名な温泉が点在し、年間を通じて県内外から観光客が訪れています。観光地の一つである「たざわ湖スキー場」では、グリーンシーズンの活用により通年での誘客促進を図っており、スキー場に隣接する砂防堰堤も観光資源の一つとして活用してもらうことを検討しました。

インフラを活用した観光支援に取り組むため、「砂防インフラ活用検討会」を設置して関係者で検討を行い、役割分担を調整した上で水沢第２砂防堰堤の壁面をボルダリングとして活用することが決定しました。

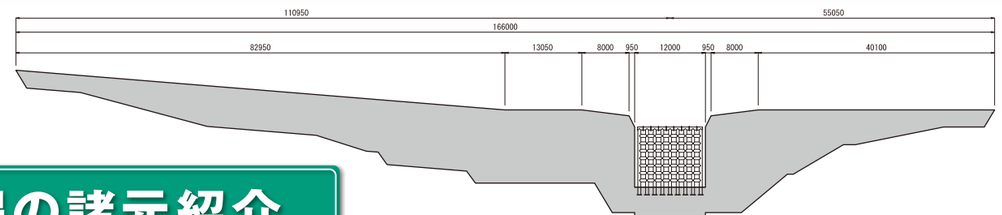
ボルダリングは一般開放（冬期除く）しておりますので、是非ご利用ください！



位置図



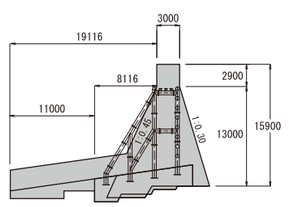
【堰堤正面図】



堰堤の諸元紹介

堰堤の高さ（堤高）	13.0m
堰堤の長さ（堤長）	166.0m
コンクリートの量（堤体積）	7,000㎥
土砂を捕捉する量	28,500㎥

【堰堤側面図】



ボルダリングウォール体験！







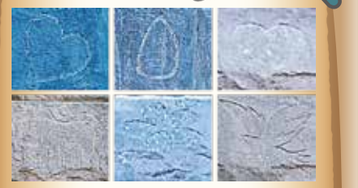
水沢第2砂防堰堤 ボルダリングウォールの特徴

ボルダリングウォールは一般的な垂直に上るタイプではなく、横方向に横断（トラバース）する約30mのコースでIFSC国際公認ルートセッターによる本格的なコース設定。

難易度の異なる初級・中級・上級の３コースあり、体力や筋力に応じてコースを選んで楽しめます。

かくし模様

探してみてね！

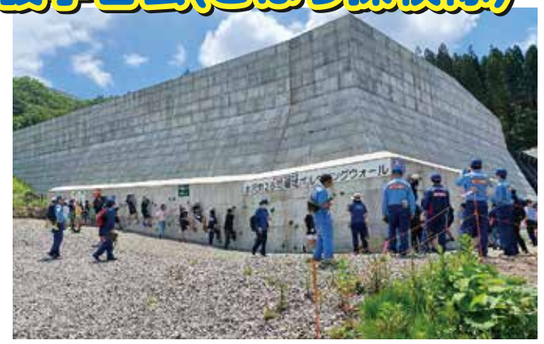


砂防堰堤の壁に鳥やハートなど
全6種類のかくし模様があります。

水沢第2砂防堰堤 ボルダリングウォールでのイベント紹介

地元小学生による砂防施設学習会（さぼう探検隊）





雪解け後の施設点検



中学生による施設見学



SABOカード

近年の未曾有の大規模災害に際し、砂防事業により理解を深めて頂くことを目的として、「SABOカード」を製作し、配布しております。**「SABOカード」**は、土砂災害から人命と財産を守るために造られた砂防施設の魅力をより知ってもらうためのカード型パンフレットです。

水沢第2砂防堰堤の「SABOカード」もあります。ボルダリング体験がてら集めてみてはいかがでしょうか。







SABOカードは次の2ヵ所で配布しています。

① 秋田駒ヶ岳山系砂防出張所（平日のみ）
（アルパこまくさ内）
〒014-1201　秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-16
TEL：0187-46-2681　FAX：0187-46-2683

② 仙北市田沢湖観光情報センター「フォレイク」
（JR田沢湖駅構内）
〒014-1201　秋田県仙北市田沢湖生保内男坂68
TEL：0187-43-2111　FAX：0187-43-2077

秋田駒ヶ岳の噴火の歴史



駒ヶ岳の主な噴火

駒ヶ岳は、男女岳(1,637m)と男岳(1,632m)、女岳(1,513m)などから成ります。噴火は女岳からのものがほとんどです。

昭和7年(1932)7月21日～26日

女岳南西～北東に噴火による9～11個の火口ができました。最大のものは直径100mもあり、火山灰は9km離れた雫石町までおりました。その後、雨による2次泥流が発生し、はんらん区域は150ha(深さ60cm)にもなりました。

昭和45年(1970)9月18日

8月29日、女岳山頂部の古い火口跡で3～4個の噴気孔を発見。一度は活動がおさまりましたが、9月18日に噴火が起こり、溶岩、火山弾を放出しました。最盛期には約2分間隔で噴火を繰り返し、女岳の西側の斜面に長さ約530mの溶岩が流れ出しました。そして46年まで活動は続きました。

噴火と土石流に備えて ～湯沢河川国道事務所の取組み～

湯沢河川国道事務所では秋田駒ヶ岳周辺で、土砂災害から地域の安全を確保するため、主に火山噴火に伴う降灰後の降雨による土石流に対応した砂防堰堤を整備しています。砂防堰堤には、土石流を食い止める働きのほか、土砂を貯めて渓流の勾配を緩やかにしたり、一度に大量の土砂が下流に流れ出ることを防ぐ役割があります。

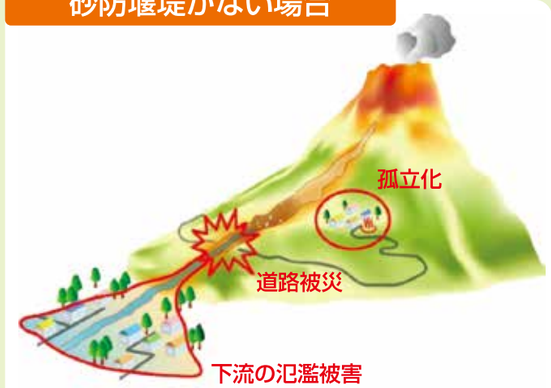
このような砂防堰堤等を中心とした施設整備を行い、また、各自治体と連携を図りながら、総合的な土砂災害対策を推進しています。

土石流を防ぐために

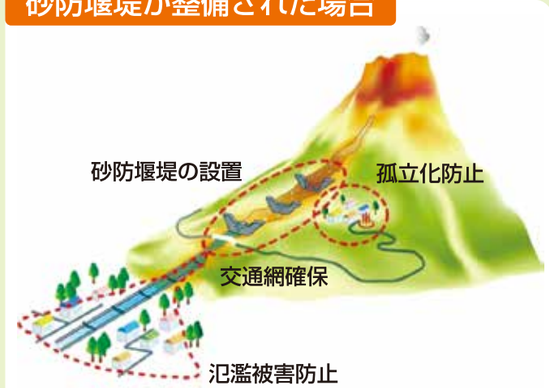
火山の噴火後、火山灰の降り積もった地域に雨が降ると土石流が発生しやすくなります。通常の土石流よりも少ない雨で起こり、流下するスピードが速いのが特徴です。

このような土石流に備え、砂防堰堤を整備し、被害を最小限に食い止めます。

砂防堰堤がない場合



砂防堰堤が整備された場合



災害から身を守るため ～様々な知識を身に付けよう～

我が家の持ち出しリスト

常日頃より準備しておき、背負いやすいリュックサックにまとめておきましょう。

□水・非常食など	水は1日一人3ℓが目安。乾パン、缶詰、レトルト食品、乾燥食品(水を注ぐだけでOK)、あめ、チョコレートなど。紙皿・紙コップ・フォークなども。
□衣類など	長袖上着、シャツ、ズボン、下着、靴下、軍手、毛布、タオル、ゴーグル(火山灰よけ)、マスク
□照明	懐中電灯(予備電池も忘れずに)
□小型ラジオ	正しい情報を得るためには必需品。(予備電池も忘れずに)
□救急用品	絆創膏、消毒薬、包帯、ガーゼ、整腸剤、風邪薬、ハサミ、綿棒など。
□貴重品	現金・小銭、預金通帳・印鑑、免許証、健康保険証、友人や親戚などの電話番号帳など。
□その他	ヘルメット、かさ、カッパ、ろうそく、ライター、時計、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、筆記用具、携帯電話など。

必要に応じて準備しましょう。

- □ほ乳ビン、ミルク、おむつ
- □常備薬、
- □生理用品
- □携帯カイロなど



前兆現象

いつもと違う変化に注意しましょう。

噴　火



山の異常を発見したら…

秋田地方気象台

TEL.018-823-8291

土石流

普段から家族で避難場所や避難経路を決めておきましょう。



「山鳴り」といって、山全体がうなっているような音がする時



川の流れが急ににごったり、水と一緒に木が流れて来た時



雨が降り続いているのに、川の水が減っている時

おしらせ

※2009年(平成21年)10月27日に秋田駒ヶ岳に噴火警戒レベルが導入されて以降噴火警戒レベル1(活火山であることに留意)が継続されています。

※噴火警戒レベルとは…

火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を5段階に区分して気象庁が発表する指標です。

(右図参照)

最新の噴火警戒レベルについては気象庁HPでも確認することができます。

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/keikailevel.html

噴火による影響とは、噴石、火砕流、融雪型火山泥流により、現象が始まってから避難までの時間的な余裕がほとんどなく生命に対する危険性が高い火山現象による影響です。

※噴石、火砕流、融雪型火山泥流で、避難道路などが通行不能となる恐れがある区域では、早期避難が必要です。

秋田駒ヶ岳の噴火警戒レベル

2009年10月27日運用開始
2023年3月24日改定

種別	名称	対象範囲	レベル(キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報(居住地域)又は噴火特別警報	居住地域及びそれより火口側	5(避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が居住地域まで到達、あるいは切迫している。 過去事例 有史以降の事例なし
			4(高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者及び特定地域の避難、住民の避難の準備等が必要。危険な地域への立入規制等。	●火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が居住地域まで到達するような噴火の発生が予想される。 過去事例 有史以降の事例なし
警報	噴火警報(火口周辺)又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3(入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。危険な地域への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難等、高齢者等の要配慮者の避難準備が必要。	●想定火口域から概ね2km以内に大きな噴石の飛散するような噴火の発生、またはその可能性。 ●想定火口域から居住地域近くまで火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が流下するような噴火の発生、またはその可能性。 過去事例 1970年女岳からの噴火
		火口周辺	2(火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難等が必要。	●想定火口域から概ね1km以内に大きな噴石の飛散するような噴火の発生またはその可能性。 過去事例 1932年南部カルデラ内(石ボラ)での水蒸気爆発
予報	噴火予報	火口内等	1(活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難準備等が必要。	●火山活動は静穏。 ●状況により想定火口域内に影響する程度の噴出の可能性あり。